



ぐうぐうだより



アレルギーについて

- 現代の日本ではアレルギー体質の方が増えてきています。誰かがアレルギー疾患になってもおかしくありません。5歳児の子どもの6割近くがアレルギー体質との報告もあります。
- 妊娠中、授乳中にお母さんが卵や牛乳、ピーナッツなど子どものアレルギーの原因になりそうな食品を食べても、食べなくてもお子様の食物アレルギーのなりやすさには関係はありません。
- お部屋の掃除をしないからお子様がアレルギー体質になるわけではありません。ただ、喘息などの症状がある場合は掃除した方が咳などの症状が出ることは少ないようです。
- アレルギー体質を非アレルギー体質に変えることが出来ません。ただ赤ちゃんの食物アレルギーの多くは大きくなるにつれ自然に治ることが多いですし、アトピー性皮膚炎や気管支喘息も学校に通い始める頃には軽くなることが多いです。
- 規則正しい生活と早寝早起きがアレルギー疾患治療の基本です。必要に応じてお薬を使用します。症状が落ち着かない方はより専門の医療機関を紹介しています。

